

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2012

11月号

Vol.186

毎月1日発行

# 杜の伝言板

# ゆるるる



も〜手伝って  
よ〜〜〜



ドドドドド...

## 鹿島台の秋を満喫!!

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業



【トピックス】

掲載団体

建築と子供たちネットワーク仙台

NPO法人みやぎ子ども養育支援の会

NPO法人亙理いちごっこ

NPO法人アフタースクールぱるけ

LaLaLa Club(ラララクラブ)

Save Japanプロジェクト

# 窯に再生の火が灯った日

● 建築と子供たちネットワーク仙台

仙台市青葉区堤町に全国でも珍しい六連の登り窯が現存していることをご存知でしょうか。

その登り窯は二〇一一年三月一日に発生した地震によって半壊してしまいました。NPO建築と子供たちネットワーク仙台の主導のもとに再生し、今年の一〇月六日、晴れて復活祭が執り行われました。

## 登り窯との出会い

建築と子供たちネットワーク仙台（以下、ネットワーク仙台）は一九九三年に発足した歴史の長い団体です。本来の活動は建築・都市デザインの手法を子どもたちへの教育に応用することに主眼が置かれており、古い建築物の保存・再生を目的に活動する団体ではありません。

ネットワークと堤町の登り窯との出会いは、今から一五年前の一九九七年。ネットワーク仙台が三本松市民センターから小学生向けの「堤町まちなけん」ワークショップを依頼されたことがきっかけでした。堤町に登り窯があることを知り、「昔の登り窯と堤焼を残したい」というのちの堤町まちなけん初代館長、佐藤達夫さんの

思いに応じて堤町まちなけん博物館の創設に動いたのです。以降、両者の関係が続いてきました。

## 崩壊、そして再生へ……

そこへ起きたのが東日本大震災です。登り窯は自然の台地を利用して縦に作られた六連式のものですが、上から三つが地震で完全に崩れてしまいました。

登り窯の再生プロジェクトが始まったのは、昨年七月からと少し時間が空きました。

じつは代表の渋谷セツコさん自身も津波の被災者だったのです。巨理にあった自宅が津波で壊されてしまいま



▲震災以来、初めて窯に火が入りました。

した。そのため「震災直後は何もやる気が起きなかった」と渋谷さんは当時を振り返ります。

被災して落ち込んでいた渋谷さんのもとへ前代表の細田洋子さんから、ネットワークの活動についての連絡がたびたび入ったそうです。細田さんの強い働きかけに応じ、無理やりながらも動かざるを得なかった渋谷さんは「活動しているうちに元気になっていくことに気づいた」と言います。「何かを積み上げていく『手しごと』は人を励ますことができる。震災でショックを受けていた子どもたちに元気を与えるためにも窯の再生に取り組みよう」と

こうして現館長の佐藤はつみさん（故達夫さんの奥さん）の「できることなら直したい」という思いや、堤人形作家の佐藤吉夫さんの「一緒にやりますか」という気持ちとともに登り窯の再生プロジェクトが始まったのです。

昨年七月からレンガの掃除・仕分けなどの作業を子どもたちとともに続け、ようやく窯積みに入ったのは今年の六月でした。崩れたレンガを一から組み直すという作業は未知の領域で、何人かの建築家には「難しい」と断られました。最終的には浜松の建築家を呼び、窯を積み上げることができました。

## まちづくりの種まき

ネットワーク仙台は今後三つのテーマを中心に動いていく予定です。一つはすでに紹介した堤町の登り窯。博物館の展示室の整備など、まだやるものが残っています。

もう一つは若林区南材木町の旧丸木商店。これもネットワーク仙台が震災前から関わってきた建築物で、創建一七八一年、市内で最も古いとされる町屋です。すでに南材木小学校の子どもたちに格子壁にはまる「紋」のデザインをしてもらうなどの活動を行っています。

そして三つ目に本来の活動である学校教育への協力。学校の総合教育の現場からの需要が震災をきっかけに増えているとのこと。震災後では、津波被害の大きかった若林区東六郷小学校へ図書箱を贈ろうという青葉区吉成小学校のプロジェクトに参画し、図書箱に東六郷小が取り組むくろしお太鼓の音をデザインするワークショップを実施しています。

最後に、ネットワーク仙台が大事にしている子どもたちへの思いを渋谷さんが語りました。

「まちづくりは大人がやるものですが、子どもたちにはデザインすることの楽しさを学ばせたい。実際に自分の足で自分の街を歩き、見て、触ることで自分の街という認識が強くなる。私たちがやっていることは子どもたちに自分の街を好きになってもらう『まちづくりの種まき』です」

## 建築と子供たちネットワーク仙台

〒982-0032 仙台市太白区富沢 4-12-22

(株)建築事務所アク・アク内

● FAX: 022-244-0104

# 石巻の子育て駆け込み寺

●NPO法人みやぎ子ども養育支援の会

「阪神大震災の例を見ても、震災遺児の問題が表面化してくるのはこれからです」

そう語るのは、震災後の石巻で震災孤児・障がい児支援を行っているNPO法人みやぎ子ども養育支援の会代表の木村孝祥さんです。

## 震災孤児を地域で育むために

みやぎ子ども養育支援の会は石巻市にある前谷寺・統禅寺の住職木村さんを代表として昨年一月に設立されました。

震災後、代表の木村さんは寺に集まった物資を被災地に届けるなど個人的に活動するかたわら、被災地を巡って傾聴を行う移動式喫茶店「カフェ・デ・モンク」の一員でもありました。

昨年九月のある日、一日の活動を終え、そろそろ店じまいを始める時間帯に一組の老夫婦がカフェを訪れたそうです。この老夫婦には一歳半の孫の女の子がいたのですが、その母親は津波で亡くなっていました。父親は精神的ショックから充分に養育することが出来ず、この老夫婦が実質的に養育している状態でした。当時（そして現在も）、石巻にはこのような震災遺児

を受け入れる養育施設がなく、老夫婦が親族里親として引き取ったのです。

老いたのちに養育しなければならなくなった夫婦は自らの老後に悩み、号泣しながらこの話をしました。震災前から石巻地域の児童養護施設について調査をしていた木村さんは、人知れず震災孤児・遺児についての悩みを抱える人々がいることを知り、また今後と同じようなケースが増えるだろうと確信し、現在の法人設立へ動き出しました。

以降、みやぎ子ども養育支援の会としてカフェ・デ・モンク開催時に子ども支援を実施しながら、今年四月にはNPO法人化、六月にはファミリーホーム開設に至りました。

現在、ファミリーホーム「子どもの家きむら」では、中学生と高校生の二人の里子が木村さんの家族とともに暮らしています。

「実際に里子を迎えてみると、苦勞が九九％と言ってもいいかもしれませんが、九〇％と言ってもいいかもしれません。ですが、これまでまったくの他人であったお子さんの人生を預かり、この先何年も同じ時間を共有していくことになったという奇妙な人の縁、そして責任感がかけがえのない一％の喜びを生んでくれています」と木村さんは



▲元気いっぱい遊びまわる子どもたちの相手をすすめるスタッフ江藤さん。

## 駆け込み寺的サロンを目指して

今年七月には、ファミリーホーム運営に加えてサロン活動にも力を入れ始めました。

七月から九月まで市内の仮設を巡りながら開催してきたお茶っこ「ここにこサロン」が、九月からは「ここにこコミュニティサロン」、「ここにこクラブ」という二つのプログラムに形を変えています。

ここにこコミュニティサロンは子育て中の家族と地域住民同士の交流の場です。毎週月曜日午前一〇時から午後三時まで、主に河南地区の農村環境改善センターの農談話室で開催されます。二〇〇円の参加費でお菓子と飲み物が付き、リラックスしながら交流を深められます。

ここにこクラブは仮設や住んでいる地域で自由に遊ばせることができない悩みを持つ障がい児向けのサロンとしてスタートしました。毎週日曜日の午

前一〇時から午後三時まで、石巻前山地区の多目的施設「遊楽館」の小会議室や工房を中心に開催されています。ただし、現在では障がいの有無に関わらず、健常児の子どもたち親御さんたちなど、さまざまな方々が集まります。

一〇月一四日に遊楽館で開催されたここにこクラブでは、通りがかりの家族の飛び入り参加もあり、総勢一五名ほどの子どもが集まり、設置されたボールプールやハロウィンイベントを思う存分楽しむ風景が見られました。

木村さんは今後の活動について次のように考えています。

「今は定期的に市の施設を借りてここにサロンを開催していますが、緊急時でも対応できる駆け込み寺のような場所が必要だと感じています。そのため、ゆくゆくは常設サロンの設置を目指しています。差しあたってはサロンを継続して開催し、多くの方に活動を知ってもらいたいです」

石巻に限らないことですが、復興は一年二年の話ではありません。短くても一〇年、もしかするともっと長い時間が必要になるかもしれません。それでも、みやぎ子ども養育支援の会は一〇年二〇年先の石巻の復興・福祉を見据えて、地に足をつけた活動を続けていきます。

### NPO法人みやぎ子ども養育支援の会

〒987-1103 石巻市北村字米倉 75

●TEL/FAX : 0225-73-3302

●URL : <http://www.miyagi-kodomo.jp/>

# 地域がつながり大きな家族に

●NPO法人巨理いちごっこ

巨理町にて被災者のためのコミュニティレストラン運営や仮設住宅での傾聴「お話し隊」の活動を行っていた「巨理いちごっこ」が昨年一二月にはNPO法人格を取得し、さらに仮設住宅内での学習支援も始めています。しかし、その活動のきっかけとなったコミュニティカフェレストラン「巨理いちごっこ」の運営は必ずしも順調とは行きませんでした。

## 新たな場所でメニュー作り

巨理いちごっこでは当初日替わりメニューを、罹災証明書を持参した方には無料、証明書のない方にはワンコイン五〇〇円+「志」をもらうことで提供していました。

しかし、震災から一年近くが過ぎた年明け頃から客足が減り始めたのです。地域の方に聞いてみると、「り災証明書を持った人しか、利用できないと思った」、「メニューが選べなくて」といった声が上がりました。

また今年六月には、以前借りていた施設の契約期間が切れたこともあり、レストランの場所を移転しました。新たなスタートを切るにあたっては、地域の方の言葉を参考に、みなさんが



▲仮設住宅内で行われている「寺子屋いちごっこ宮前学習室」

気兼ねなく利用してもらえるようにと日替わりメニューのほか、うどんやカレーライスなどのセットメニューを増やしました。「レストランに來たいと思っ

ても、なかなか足を運べないという声があったので、お昼の宅配弁当も始めました」と代表の馬場照子さん。宅配弁当は地元の方も巨理に訪れたボランティアも利用しています。

## 学びの場を子どもたちに

一方、様々な活動をする中で、小学生の子を持つ巨理町宮前仮設住宅の保護者から、仮設住宅での学習支援の要望が上がってきました。

そこで昨年一二月「寺子屋いちごっこ宮前学習室」を開設することになりました。仮設住宅で週二日、塾を経営するプロの講師、そしてアシスタント講師として大学生数名で三〇名ほどの小中学生に勉強を教えています。

集会所を借りたり講師の送迎をしたりといった準備は保護者が行うなど、学習室の運営には保護者も協力してくれています。

「成績も上がり、楽しんで参加しているようです」と保護者さん。「一対一で、年齢も近いからじっくり相談できる」と参加している小中学生からも好評です。

「学びは、一時的な支援ではありません。震災のために学習の機会が奪われてはならないと思う地域内外の協力が集まって、実現しました」と馬場さんも話します。宮前学習室は、仮設住宅に住む小中学生を対象にしています。今年九月からは仮設住宅外の罹災した子どもたちにも門戸を開くため、地域の小中学生向けの学習室を新たに巨理いちごっこレストラン内でも開いています。

## 地域の内外つなぐ役割を

巨理いちごっこに関わるボランティアへの感謝を、こういった形で伝えたいか。そう考えるうちに、お金ではなく、「いちごっこありがとうチケット」という地域通貨を渡すことを思い立ちました。ボランティアとして参加した方が活動時間に応じて受け取るチケットは、賛同する地元商店街の四〇店舗で利用できます。謝金では必ずしも巨理にお金が還元されるとは限りませんが、チケットなら地元の消費促進につながるうえに、地域内外の交流にも役立ちます。

馬場さんは今後の活動について思いを語りました。「閉じた地域では復興は難しい。今後も内外のコミュニケーションを大切にして、地元の人も外から来た人も『大きな家族』の一員となれるような地域づくりを目指したい」巨理いちごっこでは現在、地域の交流の場となる施設建設にも取り組んでいます。

### NPO法人巨理いちごっこ

〒989-2351 巨理町字南町東10-1  
 ●TEL: 0223-35-7727  
 ●URL: <http://watari-ichigokko.blogspot.com/>  
 ※レストラン: オープン 11:30 ~ ラストオーダー 18:00(冬季 16:00) それ以降は要予約。月曜定休

## その人らしい生き方が

### できる地域社会のため

#### ●NPO法人アフタースクールぱるけ

今年の七月、障がい児を持つ家族と地域住民とが普段からつながりを築いておくための冊子『ちよこつと・ねつ』が作成されました。

『ちよこつと・ねつ』を作成した「ちよこつと・ねつと推進委員会」をまとめたのは、仙台市内四か所に事業所を構え、障がい児とその家族の支援に取り組んでいるNPO法人アフタースクールぱるけ理事長の谷津尚美さん。

#### 万端だった震災対応

アフタースクールぱるけ（以下、ぱるけ）は二〇〇二年、障がい児の放課後の居場所づくり、障がい児を持つ親が安心して子どもを預けられる場所づくりを目的に設立されました。

二〇〇五年にはNPO法人となり、現在では仙台市青葉区柏木（ぱるけ柏木）、同太白区東中田（ぱるけ南仙台）、同太白区西中田（ぱるけ西中田）で放課後等デイサービス事業所、同太白区西中田（ぱるけかりーによ）で障がい児ホームヘルパー事業を運営しています。利用者は四事業所合わせ、約一三〇人です。

昨年の三月一日、谷津さんはぱるけ西中田で震災に遭いました。そのと

き、ぱるけを利用する子どもたちの所在は、学校、ぱるけ、学校からぱるけへ向かう途中などとさまざまでしたが、谷津さんを含めスタッフはすぐさま児童の安全確認を実施。さらに事業所の駐車場にはテントを張って、たとえ屋内が危険でも泊まれる準備をしました。その甲斐あって、ぱるけではトラブルらしいこともほとんどなく、震災のその日を取り切ることができました。

しかし、谷津さんは「日頃から災害発生時の準備は万端にしていたつもりでしたが、その後の避難生活を支える準備は十分ではありませんでした」と当時を振り返ります。

#### 聞こえなかったSOSの声

いったん利用者がぱるけの手の届く範囲から離れ避難生活に入ってしまうと、利用者の置かれている状況がわかりにくくなりました。事業を再開するまでの一週間、「大丈夫ですか」と問い合わせても返ってくる答えは「大丈夫です」というものがほとんどでした。

ところが震災から二か月が過ぎたのち、お母さん方一人一人と面談してみると「実際は大変だった」という声

が多く聞かれたのです。

話を聞いてみると、障がい児の子どもがいるために避難所へ行くのを躊躇ってしまった、子どもを連れて長時間列に並ぶことができず、配給や給水の機会を利用できなかったなどの事情がありました。

なぜ利用者の家族はSOSを発せなかったのでしょうか。

「障がい児の生活圏は、支援学校や放課後ケア施設など、普段住んでいる地域よりも広範囲にわたっており、そのぶん周囲の地域住民とのつながりを築きにくいのです。でも近隣の方に声をかけてもらって、本当に助かったという家族もいます。このように障がい児を抱える家族が周囲のサポートを受けるためには、普段から周囲の人々に障がい児への理解を深めてもらい、障がい児の家族もまた「受援力」（いかに周囲に助けを求められるか）を高める必要があるのです」

#### ちよこつとの勇気で

こうして結成されたのが「ちよこつと・ねつと推進委員会」です。委員会のメンバーはぱるけを利用しているお母さん方一人一人。

委員会が作成した冊子『ちよこつと・ねつ』は二面構成。片方には障がい児の家族向けに「受援力」を高めることが、もう一方には地域住民が周囲にいる障がい児とその家族を手助けするための心構えがまとめられています。委員会は現在この冊子の普及を進めている最中。

「今回の冊子はお母さん方の声を形



▲冊子配布にともなうワークショップの実演練習を行う委員会の皆さん。

谷津さんが『大事なものと語る』は無に聞わらず、その人らしく生きることができる地域社会の実現。障がい児の家族、そして周囲の人々が「ちよこつと」の勇気を出して互いに歩み寄るだけで、その社会に一步近づけるかもしれないのです。

#### NPO法人アフタースクールぱるけ

- 〒 981-0933 仙台市青葉区柏木 1-7-36
- TEL/FAX : 022-233-8425
- E-mail : paruke.kashiwagi@nifty.com
- URL : <http://homepage2.nifty.com/paruke/index.html>

# 誰もが元気なれる場を みんなで作る！

● LaLaLa Club (ラララクラブ)

二〇一二年九月、登米市迫町に女性達が気軽に集える場「とめ女性支援センター」がオープンしました。このセンターの開設を進めてきたのは、登米市の女性と南三陸町から避難してきた女性達で作るラララクラブです。

## ラララクラブの誕生

震災直後の春休み、登米市の母子家庭の母親達が中心となり、子ども守り隊を結成。登米市に避難してきた被災した子ども達に制服や体操服、ランドセル、文具などの寄付を集めて届けていました。

代表の西城順子さんは、震災直後の新学期、小学校に各クラス二〜三名ずつ、南三陸町からきた子ども達がいることを知り、「子ども達はすぐに新しい環境に慣れても、お母さん達が新しい知り合いを作るのは大変。こちらから積極的に話しかけたり、気軽に悩みを話せる場所が必要だと思った」と言います。

一方、大綱商工振興会が起業支援のために開設したコンテナおおあみでも、震災直後から避難所に物資などの支援を行っていました。そのコンテナおおあみから、子ども守り隊で活動し

ていた女性達に、南三陸町の女性達との交流が持ちかけられ、昨年六月、「被災した人達も一緒に、孤立しがちな女性同士でつながる場を作りたい」とラララクラブが誕生しました。

当初は、美人リーダー会議という名称でしたが、気軽に参加できるように現在の名称に改称しました。メンバーは三〇〜四〇代の子育て中の女性が中心。登米市に住んでいた女性と、震災後、南三陸町から登米市に引越してきた女性、合わせて二〇数名です。

## 女性同士気軽に集まりたい！

以来、コンテナおおあみに、登米と南三陸の女性達が集まって情報交換を重ねてきました。情報交換で「登米市内に女性が気軽に集まって話のできる場が欲しい」という声が上がリ、ラララクラブの提案で大綱商工振興会と登米市も参加して「とめ女性支援ネットワーク」が発足。九月二八日には、内閣府の新しい公共支援モデル事業の補助を活用して、約二〇平方メートルの木造平屋造りの建物に「とめ女性支援センター hug (ハグ)」を開設しました。

コンテナおおあみでとめ女性支援

ネットワークを担当し、支援センターの運営に携わる牧野直子さんは、「すべて手探りでスタートで大変でしたが、みんなが手伝ってくれ、オープンできました。誰もが、安らげ、交流ができて、いきいきとチャレンジできる場にした」と意気込んでいます。

## 心がキラキラになれる場所

一〇月一六日には併設のカフェスペースつむぎとキッズスペースはたばたがオープン。常勤スタッフ二名の他、ボランティアを呼びかけて集まった二〇名ほどの女性達が力を合わせて運営します。

カフェスペースでは、一時から三時まで日替わりランチ五〇〇円など登米や南三陸の女性達の手作りの料理やデザートを提供します。小箱BOXと呼ばれる委託販売スペースでは登米



▲カフェスペース「つむぎ」オープン全日のスタッフ試食会の様子。

や南三陸の女性達の作る様々な作品の展示販売も行い、趣味を介した交流なども期待できます。

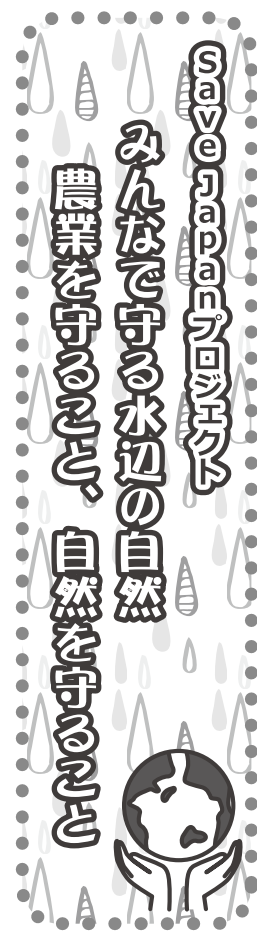
キッズスペースでは、資格を持った保育士が常駐して、一〜六歳までの未就学児を九時から一八時まで一時間五〇〇円で預かります。登米市ではこれまで理由を問わず子どもを預けられる施設はありませんでした。ちょっとした用事や美容院、気分転換に多くのお母さん達に利用してもらい、元気に子育てを楽しんで欲しいという思いが込められています。

一月には、仮設住宅で壁画アートを行っているアーティスト山田大輔さんを招いての絵画イベントやおこの料理教室なども開催予定です。

ラララクラブ代表の西城順子さんは、「この場を活かして、困っている人はみんなここにおいてよ！」と発信したい。問題の解決はできなくても、解決の糸口や選択肢が見つかり、元気になる場を作っていきたい」といいます。ラララクラブは、それぞれの環境の違いを越え、女性達がたくましく生きていくための場づくりを目指して進化中です。

### LaLaLa Club (とめ女性支援センター hug)

- 〒 987-0511 登米市迫町佐沼字新大東 125
- TEL : 0220-23-9310
- URL : [www.kontena.jp/hug/](http://www.kontena.jp/hug/)
- ※毎週月曜休館



今年の六月『Save Japan Project』

ロジエクト みんなで守る水辺の自然(注)がスタートしました。第一回目となる六月一七日には『水辺の貴重な生き物観察会』を開催し、一四家族三九人が、大崎市の天然記念物であるシナイモツゴを観察しました。

その第二回目の今回は、稲刈り体験と絶滅危惧種に指定されるゼニタナゴの観察会を開催しました。当日の九月三〇日は台風が接近する状況で、野外開催も危ぶまれました。しかし、現地の鹿島台広長地区に到着してみると、見事な秋晴れの下、輝く稲穂が三人の参加者を待っていました。

### 稲の手刈りに挑戦

長靴に履き替え、田んぼの脇で開会式を行うと早速稲刈りの開始です。

みんな夢中で鎌を振るつたため、すぐに田んぼの四分の一が刈り取られました。すっかり汗だくとなり手刈り体験を終えると、続いてコンバインの乗車体験。普段乗ることのできないコンバインに子どもたちも大興奮です。

刈った稲は、束にまとめて『はぎ掛け』します。子どもたちは、長く伸びた稲に苦戦しながらも自分たちで刈

た稲をまとめていました。

### 水辺の生き物と農作物のつながり

陽気の下で汗を流した後は、美味しい昼食の時間です。ログハウス調の鹿島台学童農園に着くと、豚汁とシナイモツゴ郷の米でできた新米のおにぎりが腹ペコの子もたちを待っていました。

地元の食材をたっぷり堪能しながら、NPO法人シナイモツゴ郷の会の高橋清孝さん、かしまだいシナイモツゴ郷の米作り手の会の吉田千代志さんからそれぞれの活動についてのお話がありました。

里山のため池は、きれいな水の水源です。シナイモツゴやゼニタナゴが生息できる水質が何よりの証拠となります。シナイモツゴ郷の米は、そのシナイモツゴの生息するため池の水を利用して育てられたお米です。地元の農家の方々は、そこに暮らす生き物たちを守り、そしてこの水を農業に利用してより安全なおいしい農作物を作ることで、農業を守っているのです。

お腹いっぱいになった後は学童農園敷地内の斜面でそり滑り。ダンボール製のそりの扱いは大人よりも子どもたちの方が上手だったようです。

### ゼニタナゴの観察

午後は、いよいよゼニタナゴの観察です。シナイモツゴ郷の会のメンバーがゼニタナゴの繁殖池に入り、事前に準備した仕掛けの容器を持ち上げると、その中にはゼニタナゴにシナイモツゴ、ザリガニと、たくさん小さな生き物たちがいました。

魚を観察用の小さな透明の容器に移すや否や、子どもたちは我先にと覗き込みます。お父さんお母さんも熱心に、ゼニタナゴとシナイモツゴの違いなどを聞いていました。

さらに、ゼニタナゴが秋になると産卵するという二枚貝も見せてもらいました。でも、残念ながら今回はゼニタナゴの卵を確認することはできませんでした。

一日を終え、自然との触れ合いを満喫した子どもたちの顔には、疲れと充実感が入り混じった表情が浮かんでいました。保護者からも「豊かな自然、食を守るために行動してくれている人がいることをこれまで知らなかった」「目で見て、直接触れて、環境の現状を知ることができた」という声が挙がりました。ただ楽しいだけでは終わらない、地域の方々の想い・環境を考えるきっかけの一日となったようです。

このSave Japan Projectプロジェクトの締めくくりとして、一月三日には、前回と今回のプログラムや環境保全活動についての報告をするシンポジウムが開催される予定です。



▲容器に移されたゼニタナゴを真剣に見つめる子どもたち。

**SaveJapan プロジェクト**  
 ● URL : <http://savejapan-pj.net/sj2012/>  
**NPO法人シナイモツゴ郷の会**  
 ● URL : <http://www.geocities.jp/shinaimotsugo284/>  
**(注) SaveJapan プロジェクト**  
 株式会社損保ジャパンが、お客様がWeb約款を選んだ場合に、その削減できる経費を寄付。認定NPO法人日本NPOセンターと共に各地域のNPOと連携し、日本各地の希少生物を守る活動を行う事業。今年は全国47都道府県で実施中。

# めざせ!認定NPO法人 NPO法人会計基準で会計報告

応援  
します!

東日本大震災後、被災地では多くのNPOが被災者支援活動を継続しています。また、被災者や地域住民が組織したNPOの立ち上げも増えてきています。しかし、その多くが資金不足となっています。

国の交付金や復興支援事業の委託金、活動への助成金、そして個人や企業からの寄付金など、多様な資金源がありますが、いずれも活動の見通しとその効果を見据えた事業計画と資金管理が信頼を得て、助成や寄付につながっていきません。

そこで宮城県は、NPO法人の信頼を高める一つとして会計基準に沿った会計報告の仕方と、寄付者にとっても有益な認定NPO法人になるためのサポートをすることにしました。

さらにNPO法人会計基準に移行する団体には、会計報告書の作り方をアドバイスする会計サポーターを派遣するキャンペーンをします。

## 第二弾!認定NPO法人 申請実践講座

二日間で認定NPO法人制度の概要紹介から申請手続きの流れ、認定申請の要件であるパブリックサポートテスト判定、そして申請書作成まで、専門家が個別相談を行いながら指導します。

講座後も専門家による個別の相談を行い、認定NPO法人の申

請までサポートします。本気で認定NPO法人の申請を考えている団体のための実践講座です。

一日目 十一月一日(土)

みやぎNPOプラザにて

二日目 十一月二三日(祝・金)

みやぎNPOプラザにて  
対象:宮城県内のNPO法人  
(両日参加できる団体)

定員:先着二五団体

参加費:無料

## NPO法人会計基準導入 セミナー

今年四月からNPO法が改正

され、NPO法人の財務諸表がそ

れまでの「収支計算書」から「活

動計算書」へ変更になりました。

つまり現金の収入支出に沿った集

計の方法から、活動にかかる収益

と費用をすべて盛り込んだ損益型

の活動報告に変わったのです。こ

れまで企業の経理を関わってきた

方にとっては、貸借対照表の正味

財産と収支計算書の差引繰越額が

一致しない、とても不可解な事

でした。

しかし、平成二十二年七月に策

定されたNPO法人会計基準は、

大きく改変し、一般的に使われ

ている損益型の活動計算書を探り

入れました。

この会計基準は、NPOにとっ

て簡単かといえはちょっとだけ難

しくなります。でも、市民にとっ

てNPOの活動がよりわかりやす

い報告となります。活動計算書は

誰のために作成するのでしょうか。

それは市民からの信頼を得て

活動に賛同や共感を得るための市

民に向けた報告書です。

二十四年度の報告書から「活

動計算書」で報告できるよう、学

びましょう。

【大崎会場】 十一月二六日(金)

【仙台会場】 十一月二二日(水)

【大河原会場】 十一月一日(金)

【石巻会場】 一月 未定  
開催時間:一三:三〇~一六:三〇  
対象:宮城県内のNPO法人・  
市民活動団体など  
定員:各会場二〇団体  
参加費:無料  
(先着順)

## 会計サポーター派遣キ

ャンペーン

NPO法人会計基準を導入し

ようとするNPO法人に対して、

会計サポーターが出向いてアドバ

イスをします。派遣する要件は、

これまでにNPO法人会計基準の

講座に参加したことがあり、会計

担当者がいるNPO法人です。ま

だの団体は、これから開催される

NPO法人会計基準導入セミナー

を受講してください。申し込みは、

十一月一五日から延べ六十団体に

達するまで受け付けます。

被災地NPOのための出前  
専門相談会

被災地で活動するNPOのた

めの出前相談を開催します。運営

上の悩みや助成金申請、法人設立

に関する個別相談を受け付けま

す。

【気仙沼会場】 十一月二六日(月)

【大崎会場】 十一月 五日(水)

一〇:〇〇~一六:〇〇

会場:気仙沼市役所ワン・テン

庁舎(気仙沼会場)

未定(大崎会場)

対象:NPO(任意団体含む)、

これから団体を立ち上げ

ようと考えている方

現在未定と

なっている詳

細も順次確定

していきます

ので、興味が

おありの方は

杜の伝言板ゆ

るまでお問

い合せてくださ

い。

問合せ:NPO法人杜の伝言板ゆるる

TEL:022-791-9323

Mail:npo@yururu.com

URL:http://www.yururu.com

参加費:無料

(二団体あたり約一時間)

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

http://www.miyagi-hpo.gr.jp

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者:(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp



## がん患者団体助成事業

- 助成対象：相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信といった企画運営
- 対象団体：がん患者会やがん患者を支援するグループなど（法人格の有無は不問）
- 助成金額：1件（1団体）あたり50万円以下
- 助成期間：平成24年4月～12月末までに実施される事業
- 募集締切：11月16日（金）必着
- 連絡先：公益財団法人 正力厚生会事務局  
〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1  
（読売新聞東京本社 総務部内）  
TEL：03-3216-7122 FAX：03-3216-8668  
URL：<http://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

## 2013年度 JT NPO 助成

### ～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

- 助成対象：1) 通常助成/日本国内において、地域社会の核となって実施する地域コミュニティの再生と活性化につながる事業  
2) 被災地支援助成/岩手県、宮城県、福島県において、被災地域の人々と共に取り組む、被災地域コミュニティの復旧・復興をテーマにした事業（活動分野は不問）  
※1) 2)ともに2013年4月1日～2014年3月31日に実施を計画している事業であること
- 対象団体：1) 通常助成：2012年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する非営利法人  
2) 被災地支援助成：2012年9月30日時点で活動実績がある非営利法人、または2013年3月までに法人格取得申請をする団体  
※2)については行政もしくは他団体からの推薦(任意書式)要
- 助成金額：1件あたり年額最高150万円(40件程度)
- 募集締切：11月20日（火）必着
- 連絡先：日本たばこ産業株式会社 CSR推進部社会貢献室  
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
TEL：03-5572-4290 FAX：03-5572-1443  
URL：<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/entry/index.html>

## 仙台Iゾンクラブ 女性自立支援事業

- 助成対象：・宮城県内を中心に活動しており、震災復興で活動することが期待される女性団体または個人  
・法人であるかどうかは不問  
・6か月以上の活動実績があること  
※1団体（個人）で1件のみの応募になります
- 助成金額：1件につき10万円（助成件数：3件）
- 応募締切：11月20日（火）
- 連絡先：仙台Iゾンクラブ事務局  
〒981-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
みやぎNPOプラザ レターケース No.43  
TEL/FAX：022-296-0192

## 2012年度『連合・愛のキャンパ』助成

- 助成対象：新たに始める、高齢者・子ども・障がい児（者）を含めた地域ぐるみの助け合い・支え合い活動  
※既存団体であっても新たに開始した活動
- 対象団体：非営利活動を主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークル等
- 助成金額：1件あたり上限15万円(27団体を目途に助成)
- 募集締切：11月26日（月）必着
- 連絡先：公益財団法人さわやか福祉財団  
（立ち上げ支援プロジェクト）  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階  
TEL：03-5470-7751  
URL：<http://www.sawayakazaidan.or.jp/news/2012/20121004.html>

## 東北ろうきん復興支援助成金制度

- 対象団体：①東北6県に主たる事務所を有していること  
②定款または会則・規約があり、決算報告書または収支報告書が作成されていること  
③活動報告書等の事業概要が容易にわかる資料を作成していること、もしくは活動内容を公開していること  
④当金庫に助成金の受取口座を開設できること  
上記すべてに該当する、現在東日本大震災からの復旧・復興・被災者支援に従事しているNPO団体・ボランティア団体等  
※労働組合や労働団体、自治会、町内会等については、助成対象外
- 助成金額：1団体あたり30万円～50万円（総額300万円）
- 募集締切：11月30日（金）（当日消印有効）
- 連絡先：東北労働金庫 営業推進部営業店支援課  
〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15Ace21ビル  
TEL：022-723-1118 FAX：022-215-3169  
E-mail：[suishin@tohoku-rokin.or.jp](mailto:suishin@tohoku-rokin.or.jp)  
URL：[http://www.tohoku-rokin.or.jp/whats\\_new/detail.html?id=134](http://www.tohoku-rokin.or.jp/whats_new/detail.html?id=134)

## 平成25年度 年賀寄附金配分

- プログラム：一般枠/活動・一般プログラム、活動・チャレンジプログラム、施設改修、機器購入、車両購入  
特別枠/東日本大震災の被災者救助・予防(復興)
- 助成対象：「お年玉付郵便葉書等に関する法律」により定められた10分野の事業  
※詳細は要項をご確認ください
- 対象団体：一般枠/社会福祉法人、更生保護法人、特例社団法人、特例財団法人・公益社団法人、特定非営利活動法人  
特別枠/一般枠申請可能団体に加え、一般社団法人、一般財団法人、生協法人、学校法人等の非営利法人
- 助成金額：1件あたり上限500万円  
※活動・チャレンジプログラムのみ上限50万円
- 募集締切：11月30日（金）（当日消印有効）
- 問合せ先：日本郵便株式会社 郵便事業総本部 総務部 環境・社会貢献室  
〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2  
TEL:03-3504-4401(平日10:00～12:00及び13:00～17:00)  
URL：<http://www.post.japanpost.jp/kifu/index.html>

11月25日(日) 両日 10:00～15:00  
場所: 東松島市老人福祉センター  
(小松字上浮足 252-3)

- 参加費: 1回 1,000円
- 主催: NPO法人ばざーる太白社会事業センター  
(ビートスイッチ)
- 連絡先: 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
みやぎNPOプラザ内 レターケース No.28  
TEL: 070-5620-8198/022-292-7160  
FAX: 022-292-7162

## 11/24 3.11 定点観測アーカイブ・プロジェクト公開サロン

震災の記録写真を撮影した市民の方々をゲストに迎え、震災後間もなく撮影された写真と、その後、撮影された同じ撮影地の定点観測写真を、撮影者ご本人に紹介していただくプロジェクトです。

- 日時: 11月24日(土)、12月15日(土)  
2013年1月19日(土)、2月16日(土)  
全日程 14:00～16:00
- 場所: せんだいメディアテーク7階
- 主催: NPO法人 20世紀アーカイブ仙台 / せんだいメディアテーク
- 連絡先: NPO法人 20世紀アーカイブ仙台  
〒983-0021 仙台市宮城野区田子 1-11-2  
TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651  
E-mail: npo@20thcas.or.jp  
URL: <http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html>

## 11/25 CAP こどもワークショップ

もしも友達にいじめられたら?もしも、知らない人に連れて行かれそうになったら?何ができるでしょう。劇や話し合いなど体験しながら学びます。(1年に1回だけの特別企画です)

- 日時: 11月25日(日) 10:00～11:30(9:45受付)
- 場所: 仙台市福祉プラザ 第4研修室
- 内容: 自分を守る方法を体験しながら考えます。  
(簡単で効果的な護身術も教えます)
- 対象: 就学前～小学低学年  
(きょうだいで参加希望の場合はご相談ください)  
※子どもだけの参加になります
- 定員: 15名(先着確定順) ※定員になり次第締切
- 参加費: 500円(当日、受付でお支払いください)
- 申込方法: 子どもの氏名(読み仮名)、保護者氏名(読み仮名)、連絡先(電話番号・FAX・メールアドレス)を明記の上、電話・FAX・メールにて申込み
- 主催: CAPみやぎ
- 連絡先: TEL: 070-5017-4389

FAX: 022-258-7540 (田中)  
E-mail: cap\_miyagi@yahoo.co.jp  
URL: <http://www.cap-miyagi.net>

## 11/27 親業セミナー「子どもを伸ばす関わり方」 ～子どもの自主性を育てるには～

子育てについて、日頃疑問や問題を感じていませんか?このセミナーでは、親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす“ゴードン博士のコミュニケーション・メソッド”を紹介します。

- 日時: 11月27日(火) 10:00～11:45  
※月1回開催しています
- 場所: エル・パーク仙台 141ビル5F
- 講師: 石田えみ子氏 (PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参加費: 500円
- 主催: PETフォーラム
- 連絡先: TEL/FAX: 022-281-0858  
URL: <http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html>

## 12/1 平成24年度 みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部交流会

地域づくり団体等が集合し、東北学院大学教養学部 柳井雅也教授から今後の地域づくりについての講演と、震災の復興に向け地域づくり活動を行っている団体の事例紹介から、地域づくり活動の参考にしてもらうことを目的に開催します。地域づくりに興味のある方ならどなたでも参加できます。情報交換、交流の機会として、ご活用ください。

- 日時: 12月1日(土) 13:30～17:00
- 場所: サッポロビール株式会社 仙台工場  
「ゲストホール」(名取市手倉田字八幡 310-1)
- 内容: (1)講演「東日本大震災を乗り越える『地域』の知恵と力」  
講師: 東北学院大学教養学部教授 柳井雅也氏  
(2)震災復興や被災地支援に関する地域づくり活動の事例紹介  
(3)懇談交流会
- 対象: みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部会員、県内で活動する地域づくり団体及び個人、地域づくり活動に興味がある団体及び個人
- 定員: 約70名
- 参加費: 無料(懇談交流会参加者は3,000円)
- 申込方法: 所定の参加申込書に記入の上、下記連絡先に申込み
- 主催: みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部
- 連絡先: (事務局: 宮城県仙台市地方振興事務所地方振興部)  
〒981-8510 仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17  
TEL: 022-275-9114 FAX: 022-233-6624

## 情報をお待ちしています

○申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**

○締切: 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)  
○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327  
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト  
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、[info@miyagi-npo.gr.jp](mailto:info@miyagi-npo.gr.jp)まで

11/23

## 福島原発事故と私たちの暮らし 第2弾 「食と放射能～水産物の安全と安心を考える～」

東京電力福島第一原発事故により海に流されている放射性物質の行方と、魚など水産物への影響について、わたしたちの疑問や不安に、専門の立場からわかりやすくお話していただきます。食卓の安全を守り、消費者も生産者も安心できる仕組みはどうしたらできるのでしょうか。

- 日 時：11月23日（金・祝日） 13:30～15:30
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール  
（141ビル5階（仙台三越定禅寺通り館））
- 講 師：片山知史氏（東北大学大学院農学研究科水産資源生態学分野教授）
- 参加費：300円（資料代含む）
- 託 児：6ヶ月以上小学1年生まで（しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてご相談ください）  
・託児利用料：300円（子ども1人/1回）  
・申込締切：11月15日（木）  
（先着順、定員になり次第締切）  
・申込先：エル・ソーラ仙台  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい
- 連絡先：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい  
TEL：022-229-1524（天野）

11/23

## 第6回せんだい・みやぎオートムセミナー 2012 「自分にピッタリな生き方・働き方を見つけませんか？」

「せんだい・みやぎオートムセミナー」は、100人の市民講師との語り合いから、自分にピッタリな働き方や生き方と出会う「夢の学校」です。様々な道のプロフェッショナルからの熱い語りあり、みんなで輪になって夢や志を語り合うトークありの100講座を開催！なりたい自分のお手本が見つかります！

- 日 時：11月23日（金・祝） 11:00～16:40  
1時間目 11:00～12:00 2時間目 13:00～14:00  
3時間目 14:20～15:20 4時間目 15:40～16:40
- 場 所：東北学院大学 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋 1-3-1）
- 内 容：100人の市民講師による100の講座  
※講座内容の詳細は下記HPをご確認ください
- 参加費：無料
- 申込方法：<http://www.heartbest.net/autumn/app.php> から申込
- 主 催：せんだい・みやぎオートムセミナー実行委員会
- 連絡先：NPO法人ハーベスト  
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-10-33  
第二日本オフィスビル 9階  
TEL：022-395-4311 FAX：022-395-4260  
E-mail：info@heartbest.net  
URL：http://www.heartbest.net/autumn/

11/23

## 男女共同参画推進せんだいフォーラム 2012 ワークショップ ワクワク ホットな「エル」空間♪ ひろがる つながる 活動の輪 交流ひろば

市民活動の「いま」と出会う特別な一日。成果物の販売や情報交換ができる活動ブースと、人形劇や紙芝居、ゴスペルライブや囲碁体験など、子どもからおとなまでみんなが楽しめるミニイベントが満載です。クイズ形式のスタンプラリーもありますヨ！

- 日 時：11月23日（金・祝） 11:00～16:00

- 場 所：エル・パーク仙台 市民活動スペース  
（141ビル [仙台三越定禅寺通り館] 5F）
- 内 容：ミニイベント&活動ブース
- 主 催：公益財団法人 せんだい男女共同参画財団
- 企 画：NPO法人 イコールネット仙台
- 連絡先：エル・パーク仙台 市民活動スペース  
TEL：022-268-8301 FAX：022-268-8316

11/24

## 仮設住宅における被災者支援パート2

東日本大震災から1年半たち、新たな問題が出て来ているのではないのでしょうか。仮設住宅の現状を再確認し、復興支援のあり方を考え話し合いたいと思います。

- 日 時：11月24日（土） 13:30～15:40
- 場 所：エル・パーク仙台5F セミナー室（141ビル）
- 講 師：芳賀ヒロ子氏（一般社団法人パーソナルサポートセンターマネージャー）
- 参加費：無料
- 託 児：6ヶ月以上小学1年生まで（しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてご相談ください）  
・託児利用料：300円（子ども1人/1回）  
・申込締切：11月15日（木）  
（先着順、定員になり次第締切）  
・申込先：エル・ソーラ仙台  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：北京 JAC 仙台
- 連絡先：北京 JAC 仙台（担当：斉藤）  
TEL：022-284-7474

11/24

## NPO 法人ミュージズの夢 10周年記念コンサート 音楽バスででかけよう！

キーワードは「友達、夢、旅」。いっぱい素敵な言葉が、みんなの夢が集まりました。さあ、子供達の夢をのせたみんなの音楽バスに乗って、どこに行こう？

- 日 時：11月24日（土） 14:00～（開場 13:30）
- 場 所：仙台市青年文化センター シアターホール
- 内 容：第1部 ミューズの夢生徒・会員による演奏  
第2部 「みんなで出発！夢旅行」（新作初演）
- 入 場 料：1,000円（全席自由）
- チケット：仙台市内各プレイガイド（藤崎、仙台三越、ヤマハ仙台店、カワイ仙台ショップ、サンリツ 他）
- 主 催：NPO 法人ミュージズの夢
- 連絡先：TEL/FAX：022-267-9540  
E-mail：info@musenoyume.jp  
URL：http://musenoyume.jp

11/24

## うーん？分かった！といえるパソコン講座

「さあこれからパソコンを使ってみよう！」「パソコンを使っているけどちょっと？」

パソコンを使うと思わぬところで…そのような方向けに、パソコン講座を開催しています！

- 日 時：★みやぎNPOプラザ土曜講習  
11月24日（土） 両日 13:00～16:00  
場所：みやぎNPOプラザ  
（仙台市宮城野区榴ヶ岡 5番地）  
★東松島市講習

らの東北における地域づくりのビジョンを、参加者の皆さんと共有したいと思います。  
皆さんも一緒に、これからの東北を考えてみませんか？

- 日 時：11月17日(土) 13:00～17:00(12:30開場)
- 場 所：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア  
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参加費：無料(要事前申込)
- プログラム：★第1部 つながり・ぬくもりプロジェクト活動報告  
報告：三井元子氏(つながり・ぬくもりプロジェクト 幹事)  
自然エネルギー利用者の声  
支援者協力者からのご挨拶  
★第2部 パネルディスカッション「復興からのエネルギーシフトをめざして」  
コーディネーター  
高橋万里子氏  
(NPO法人水・環境ネット東北 専務理事)  
武内賢二氏  
(株式会社ソーラーワールド 代表取締役)  
パネリスト(予定)  
伊藤幸男氏  
(岩手・木質バイオマス研究会 代表)  
岩佐隆氏  
(山元いちご農園 代表取締役)  
大村道明氏  
(一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE) 専務理事)  
唐澤晋平氏  
(NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 事務局長)  
島村守彦氏  
(NPO法人インディアンヴィレッジキャンプ 副理事長)  
吉成信夫氏  
(NPO法人岩手子ども研究所(森と風のがっこう) 理事長)  
★会場からの質疑応答  
★閉会挨拶  
※シンポジウム終了後、交流会(会費2,000円予定)を予定しております
- 申込方法：下記リンク先の申込フォームより申込。交流会参加の有無もお知らせください  
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/85ea015f214168>
- 主 催：東日本大震災 つながり・ぬくもりプロジェクト
- 連絡先：(担当：氏家、中條)  
〒164-0011 東京都中野区中央4-54-11  
(認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP)内)  
※10月より仙台市内に事務局を移転予定  
TEL：03-6382-6061 FAX：03-6382-6062  
E-mail：re-shien@isep.or.jp  
URL：http://tsunagari-nukumori.jp/

表現するワークショップです。世代を超え、性別を超えて、さまざまな生き方に触れながら、思いっきり「わたし」をPRしてみませんか。

- 日 時：11月20日(火) 18:30～20:30
- 場 所：エル・パーク仙台 スタジオホール  
(141ビル(仙台三越定禅寺通り館)6F)
- 講 師：中村桃子氏(関東学院大学教授)
- 定 員：40名(先着順)
- 参加費：500円
- 託 児：6ヶ月以上小学1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもおご相談ください)  
・託児利用料：300円(子ども1人/1回)  
・申込締切：11月11日(日)  
(先着順、定員になり次第締切)  
・申込先：エル・ソーラ仙台  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 申込方法：下記連絡先までFAXにて申込
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：NPO法人イコールネット仙台
- 連絡先：エル・パーク仙台市民活動スペース  
FAX：022-268-8316

## 11/23 いい日いい汗栄養まつり

「脱！メタボ～健康は毎日の積み重ねから～」をテーマに宮城県栄養士会主催のイベント「いい日いい汗栄養まつり」を開催します。併せて県民健康づくり公開講座の講演会も行います。

- 日 時：11月23日(金・祝) 11:00～16:00(最終受付15:30)
- 場 所：ネット仙台市情報・産業プラザ  
「多目的ホール」(イベント会場)アエル5階  
「セミナールーム2」(講演会場)アエル6階
- 内 容：★講演会「食事とサプリメント」～豊かな食生活のためのサプリメント活用法～  
★食と健康に関する展示・体験イベント  
・ステージイベント  
健康運動指導士によるお手軽運動  
・ポディーチェック  
血管年齢・肥満度・体脂肪・骨強度測定  
・歯科医師・歯科衛生士による歯周病チェック・歯磨き指導  
・専門職による健康相談：栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師・健康運動指導士  
★米粉パン・宮城県産新米おにぎりの試食、服部コーヒの試飲
- 参加費：無料
- 主 催：社団法人宮城県栄養士会
- 連絡先：〒980-0011 仙台市青葉区上杉3-3-16 SAビル2階  
TEL：022-265-8007 FAX：022-261-6912  
E-mail：my-eiyou@juno.ocn.ne.jp  
URL：http://www7.ocn.ne.jp/~my-eiyou/

## 11/20 男女共同参画推進せんだいフォーラム2012 ワークショップ 「わたしをコマーシャルする」

「がんばっている自分」「〇〇をめざしている自分」などを伝え、

### 縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分9月11日～10月10日 仙台市所轄分9月11日～10月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県 東松島市体育協会	東松島市	生涯スポーツの振興と競技力の向上に関する事業を行う	9/26
大郷ファーム	黒川郡大郷町	障害福祉サービス事業を行う	10/4
ハビふるWedding	登米市	地域後継者の地元への定着のため、結婚の支援及びウェディングプロデュースを行う	10/6
トータルケア	青葉区	医療・介護の推進に寄与する文化事業の企画、運営、医療・介護事業の紹介事業、医療・介護事業に関する相談事業等	9/28
ICT支援NPOネットワーク宮城	宮城野区	人材育成の企画・運営事業、情報支援と交流事業、講師等の派遣事業	10/9

宮城県のNPO法人数 **681** 団体 ※2012年10月10日現在  
宮城県等所轄：304団体  
仙台市所轄：377団体

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分9月11日～10月10日 仙台市所轄分9月11日～10月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県 日本ナチュラル療法学院	登米市	整体師及び生活習慣病の予防について指導できる人材の育成事業等	9/21
橋の島21世紀プロジェクト	気仙沼市	気仙沼地域の経済活動の活性化を図る活動に関する事業を行う	9/27
りふスポーツクラブ	宮城県利府町	利府町民に対する、健康増進、地域コミュニティの促進、豊かな高齢社会の創造、青少年の育成に関する事業	10/1
匠の右腕	泉区	大工職人を育成するための研修技術訓練の企画運営事業、伝統的な木造建築に関するイベント・セミナーの開催事業等	9/12
子どもの村東北	青葉区	子どもの村の建設・運営事業、社会的養護の子どもと家庭への支援及びシステムの研究開発事業等	9/20
みんなえがお	若林区	障害福祉サービス事業所の経営	10/1
かえる	太白区	介護保険法に規定するサービスの提供及び受託事業、障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業等	10/1



## 布ナプフェスタ 2012

.....  
布ナプキン初めての方も使っている方も大満足！見て触れる体験型イベント！！あたりまえを身近に。あたりまえを普通に。あたりまえに布ナプキン。

- 日 時：11月10日(土) 11:00～15:00
- 場 所：仙台青年文化センター 2F 交流ホール
- 内 容：★ワークショップ
  - ・布ナプキン手作り村(終日開催、100円)
  - ・手作りアクセサリー製作(終日開催、500円)
 ★講演会
  - ・コミュニケーション手段としての布おむつ
  - ・ココロとカラダが生まれ変わる布ナプキン ほか
- 入 場：無料
- 主 催：布ナプ普及協会
- 連 絡 先：〒981-3106 仙台市泉区歩坂町 67-25  
TEL/FAX：022-374-2488  
E-mail：napu2@napu2.com  
URL：http://napu2.com



## 第3回 まきばフリースクール文化祭

- 日 時：11月10日(土) 11:00～16:00  
※雨天時は11/11に延期
- 場 所：まきばフリースクール
- 内 容：★ステージ発表 ★ゲームコーナー  
★女装コンテスト ★デュエル・マスターズ大会  
★フリーマーケット ★テレビが当たる!? 大抽選会
- 参 加 費：無料
- 主 催：NPO法人まきばフリースクール
- 連 絡 先：〒987-2183 栗原市高清水袖山 62-18  
TEL：0228-25-4481 FAX：0228-25-4482  
E-mail：makibafree@mail.goo.ne.jp  
URL：http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free



## 「第12回芸能ボランティアふれ愛の集い」

- 日 時：11月12日(月) 10:00～16:30(予定)
  - ★第1部 芸能ショー
  - ★第2部 東日本大震災映画上映会「わたし、ここにいます。石巻一宮城～」
 ※終演後参加者観覧者交流懇親会  
(大広間9階、参加費1,500円)  
11月13日(火) 10:00～14:00  
★語り、朗読、涙と笑いの寸劇(飛び入り歓迎)  
入場料500円(映画製作費はじめ義援金の一部として寄付いたします)  
被災者無料ご招待  
※終演後交流懇親会(2階レストラン、参加費1,500円)
- 場 所：仙台福祉プラザ ふれあいホール  
(仙台市青葉区五橋 2-12-2)
- 主 催：芸能ボランティアこだま会
- 連 絡 先：TEL：090-2889-7474



## 写真パネル展「貧しくも、明日に向かって生きる国」～アグネス・チャン大使が見た“幸せ



## の国”ブータンの素顔と幸せの源～

.....  
国民の97%が「幸せ」を感じているといわれる「国民総幸福」(GHN)政策のブータン。政府と国民一人ひとりの努力やこれから

直面する課題を子どもの視点で探るため、アグネス大使が今年4月にブータンを訪問しました。その写真展を開催します。

- 日程・会場：10月28日(日)～10月31日(水)
  - みやぎ生協名取西店2階ホール  
11月1日(木)～11月5日(月)
  - みやぎ生協白石店1階催事場  
11月8日(木)～11月14日(水)
  - みやぎ生協加賀野店
- 主 催：宮城県ユニセフ協会、みやぎ生協こ～ぶ委員会
- 連 絡 先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2  
みやぎ生協ウイズ内  
TEL：022-218-5358(月～金 10:00～17:00)  
FAX：022-218-5945  
E-mail：sn.unicef\_miyagi@todock.jp  
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp



## 地域のITアドバイザーを目指そう！パソコンサポーター養成講座

.....  
あなたのパソコンスキルを伸ばし、「人の役に立ち」「喜ばれる活動」の一歩を踏み出しませんか？  
この講座では、シニアや初心者にはパソコンやインターネットの楽しさを伝える講師を養成、県内で活躍できる講師を目指します。

- 日 時：★第1回 オリエンテーション 11月15日(木)  
★第2回 ワードではがき作成 11月21日(水)  
★第3回 インターネット教室 11月29日(木)  
★第4回 エクセルで家計簿作成 12月7日(金)  
★第5回 伝わる指導方を学ぶ 12月12日(水)  
★第6回 模擬授業実習 12月20日(木)  
各回13:00～16:00  
※都合により日程変更、内容変更する場合があります
- 場 所：みやぎNPOプラザ会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対 象：自分のパソコンがあり、自宅学習が可能な方  
Eメールで連絡が取れる方  
シニアや初心者向けのIT講師として活動できる方
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：12,000円(6日間の受講料及びテキスト代を含む)
- 使用機器：Windows7 Office2010
- 申込方法：下記事項を明記の上、FAX、郵送、メールにて下記連絡先まで申込  
※<参加者情報>氏名(ふりがな)、性別、年代、TEL、FAX、住所、メールアドレス  
<事前質問>  
(1)この講座をどこで知ったか  
(2)自分用のパソコンを持っているか、OSやソフト等は何を使用しているか  
(3)インターネットは使用しているか、主な活用等について  
(4)講座で学びたいことは何か
- 申込締切：11月10日(土)、または定員に達し次第
- 主 催：ICT支援NPOネットワーク宮城
- 連 絡 先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5 レターケース 39  
TEL/FAX：022-293-7767  
E-mail：ict@ictnpo-miyagi.jp  
URL：http://www.ictnpo-miyagi.jp/



## 復興からのエネルギーシフトをめざして～自然エネルギーによる被災地支援「つながり・ぬくもりプロジェクト」シンポジウム～

.....  
甚大な被害をもたらした東日本大震災は、非常時にも素早く対応できる、安心安全な自然エネルギー社会への転換を、いかに迅速に実現していくかという教訓を残しました。本シンポジウムでは、この教訓を眠らせることなく、自然エネルギーを活用したこれか

なつてこの申請を行うことおよび単独でこの申請を行うこと（重複申請）はできない

- 募集説明会：応募する団体は必ずいずれかに参加すること（申込不要）
  - ・11月13日（火）11:00～12:00  
場所：エル・ソーラ仙台 大研修室（アエル28F）
  - ・11月15日（木）11:00～12:00  
場所：エル・ソーラ仙台 研修室（アエル28F）
- 申込方法：下記応募書類に必要事項を記入の上、応募受付期間内にエル・ソーラ仙台に持参（要予約）
  - ※応募書類：(1)申込書、(2)団体概要書、(3)企画書、(4)団体規約
- 応募受付期間：11月14日（水）～11月30日（金）
  - ※土日祝・休館日（11月26日（月））を除く、10:00～16:00
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台（担当：管理事業係 牛井潤）  
〒980-6121 仙台市青葉区中央1-3-1 アエルビル28F  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045

## こどもホタルレンジャー2012 活動参加団体募集!

ホタルなどの水辺にすむ生きものを通じて、豊かな水辺の環境や健康な川の姿、水とわたしたちのくらしのつながり、川にまつわる地域の文化などについて、考え、調べ、体験し、守っていく…それが「こどもホタルレンジャー」です。この活動が全国にひろがることを願い、活動に取り組む団体を広く募集します。

- 対象：下記3つの条件を全て満たしている活動
  - ・小学生、中学生の団体・グループおよびNPO/NGOでこどもが中心の活動
  - ・ホタルや底生動物等、水辺に生息する生きものの観察、保全活動（ただし、周辺の生きものや生息環境にも配慮した活動であること）
  - ・河川など水辺における活動を基本とし、その他学校などにおける水環境の保全に関連した活動も含める
- 応募：所定の申込用紙に記入の上、下記連絡先までメール、FAX、郵送にて申込。  
参加登録団体には、こどもホタルレンジャーの活動の参考資料、活動レポート用の応募用紙を送ります。活動レポートの締切は2013年1月11日です  
※申込用紙は以下のURLよりダウンロード可能（<http://www.env.go.jp/water/hotaranger.html>）
- 賞：学校部門、団体部門に分け、それぞれ大臣賞、優秀賞、奨励賞を選定。受賞団体は表彰式と活動報告会（東京予定）に招待
- 主 催：環境省
- 連絡先：株式会社ヒップ「こどもホタルレンジャー事務局」  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5-608  
TEL：03-3370-2411 FAX：03-3370-2017  
E-mail：hotaru@hip-ltd.co.jp

## 被災地施設へのペレットストーブ無償提供

.....  
NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所では、被災地における森林資源の活用を促進するため、被災地施設へのペレットストーブの無償提供を行っています。無償設置を希望する施設の方は、ぜひご連絡ください。  
※この事業は平成24年度日本郵便年賀寄附金助成事業の一環として実施しています。

- 提供条件：宮城県及び岩手県の沿岸部で、公共施設など多くの方の目に触れる場所  
※提供台数には限りがあるため、ご希望に沿えない場合があります。詳細はお問い合わせください
- 主 催：NPO 法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所
- 連絡先：NPO 法人日本の森バイオマスネットワーク（担当：唐澤）  
TEL：0228-22-6721  
E-mail：office@jfbn.org  
URL：http://jfbn.org/

## 事業案内

### 毎週火曜 傾聴やカウンセリングに興味のある方の生徒募集

.....  
特に毎日の生活の中で使える上手な話の聞き方、話しの進め方を学びます。

- 日 時：毎週火曜日 19:00～21:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室
- 参加費：1回1,000円、テキスト代1,300円（初回のみ）
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：はあとランド
- 連絡先：TEL：080-5225-7532

## イベント

### 11/10 第18回 知的障害者による芸術祭 ピュア・ハーツ in せんだい

.....  
合唱やダンス、太鼓演奏を行います。ぜひいらしてください!

- 日 時：11月10日（土）10:00～16:00
- 場 所：イズミティ21 大ホール
- 参加費：無料
- 主 催：仙台市知的障害者芸術文化協会
- 連絡先：〒989-3212 仙台市青葉区芋沢字畑前北62（社会福祉法人千代福祉会内）  
TEL：022-394-5205 FAX：022-394-5204

## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.10.16現在) 敬称略

●正会員 47名

- ★仙台市 ●ICT支援NPOネットワーク宮城 ●FOR YOU にこにこの家

●賛助会員 100名

- ★仙台市 ●おひさまくらぶ ●グループゆう ●シャロームの会 ●田所希衣子

## 会員募集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。  
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる  
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

# information

10月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### 石巻復興ワークキャンプ 震災復興 × ボランティア × 交流

今回のワークキャンプでは、被災した子ども達が遊ぶ空き地の整備、仮設住宅等での住環境整備などのワークを行います。その一つ一つが被災した人々の生活改善につながっていきます。そして何よりも被災地は決して孤立していない、というメッセージを伝えることができるのです。

- 活動日時：(1) 11月23日(金)～11月25日(日)  
(2) 12月24日(月)～12月26日(水)  
(3) 2013年3月1日(金)～3月3日(日)  
※いずれか1回のみ参加も可能
- 集合・解散：各回1日目 9:00 集合、3日目 17:00 解散
- 場 所：共に代々木ゼミナール仙台校前
- 活動場所：宮城県石巻市周辺
- 内 容：被災地見学、ワーク、振り返りなど
- 対 象：大学生、大学院生  
※社会人や高校生の方で参加を希望される場合は別途お問い合わせください
- 定 員：各回20名  
※最少催行人数に満たない場合は中止
- 参加費：3,500円(食事代、入浴代、宿泊代含む)  
※1日目の昼食は持参、集散場所までの往復交通費は含みません
- 申込方法：NPO法人石巻復興支援ネットワークまでメールにて、または下記URLから申込  
・パソコン：<http://ishinomaki.zz.tc/pc>  
・携帯電話：<http://ishinomaki.zz.tc/keitai>
- 申込締切：(1) 2012年11月7日(水) 18:00  
(2) 2012年12月8日(土) 18:00  
(3) 2013年2月13日(水) 18:00
- 主 催：石巻復興ワークキャンプ推進協議会
- 連絡先：石巻復興ワークキャンプ推進協議会  
インフォメーションセンター  
TEL：078-843-8849(平日・土曜、9:00～18:00)  
E-mail：ishinomaki@brainhumanity.or.jp

## 有給スタッフ

### 民間学童クラブ キッズベース スタッフ募集

- 形 態：(1)パート職員  
業務内容：会員管理等の事務処理と、子どもの見守り等  
勤務時間：週30時間未満、週3日～5日程度の勤務が可能  
条件等：労働保険あり  
(2)フルタイム職員(未経験者の方)  
業務内容：一般的な事務処理、会費請求等の事務処理と子どもの見守り等  
条件等：労保・社保あり  
(3)フルタイム職員(3年以上経験者の方)

業務内容：一般的な事務処理、会費請求等の事務処理と子どもの見守り等  
イベント・セミナー等の企画運営

条件等：労保・社保あり  
※労働条件、待遇については、ハローワークの求人票でご確認ください

- 申込方法：履歴書・経歴書を準備の上、ハローワークを通じて申込
- 主 催：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央1-1-17-906号  
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156  
E-mail：talisman@kidsbase.jp  
URL：<http://kidsbase.jp/>

## お知らせ

### 宮城県新しい公共支援事業つなぎ融資 利子補給事業

NPO等と行政との協働事業を促進して「新しい公共」の拡大と定着を図るため、行政から受託した業務の実施に際して、金融機関等からの借入れ(つなぎ融資)を利用するNPO等へ、利子を補給します。

- 対象団体：宮城県内に事務所を有するNPO等(特定非営利活動法人及びその他の民間非営利組織)であって、平成24年4月以降に係る新規業務を行政から受託し、つなぎ融資を受けた団体。
- 助成金額：平成25年3月31日までに支払う利子の相当額(上限設定あり)
- 募集期間：平成24年10月22日(月)～12月14日(金)  
※詳しくは下記のURLからご確認ください。
- 連絡先：宮城県環境生活部共同参画社会推進課  
NPO・協働社会推進班  
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号  
TEL：022-211-2576 FAX：022-211-2392  
URL：[http://www.pref.miyagi.jp/kyosha/newpublic/top\\_newpublic.htm](http://www.pref.miyagi.jp/kyosha/newpublic/top_newpublic.htm)

### 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 託児業務委託団体募集

公益財団法人 せんだい男女共同参画財団の主催事業等の講座・イベント参加者の子どもを預かる託児、託児スタッフのコーディネートや手配、その他託児にかかわる周辺業務を行う団体を募集します。

- 委託期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日  
※ただし、複数年の更新あり
- 応募資格：主に仙台市内で活動している公益活動団体であること(法人格不問)  
※複数グループにより構成された団体からの応募も可能。その場合、代表グループを定め、そのグループが応募等の手続きを行う※複数グループとして応募したグループおよび団体は、他の構成団体と



みやぎNPOプラザでは、NPOをもっと身近に感じられる市民社会を目指し、今年もNPOフォーラムを開催します。ここでは各会場で開かれる講座・イベントを一挙に紹介！NPO初心者の方からベテランNPO関係者の方まで、誰でも気軽に参加できるプログラムが満載です。※申込みは講座の実施団体、またはみやぎNPOプラザまでお願いします。

**日時** 11/18(日)  
10:00~16:30

**会場** みやぎNPOプラザ 全館

**交流サロン**

10:00~12:00

**「Facebookで広報活動大作戦！」**

概要: 旬のツール、Facebookの活用方法を学び、広報力UPを目指す初心者向け講座です。

定員: 40名(要事前申込)

参加費: 800円

対象: NPOや市民活動団体のメンバー

13:00~15:00

**「あのNPOリーダーに聞く! NPOの組織運営のコツ」**

概要: 長く安定的に活動を続けるNPOのリーダーに、組織運営について語ってもらうパネルディスカッション。どなたでも参加できます。

参加費: 無料

15:30~16:30

**「大交流会」**

概要: 参加者同士の交流を広げ、NPOへの理解を深め、未来について語り合しましょう! どなたでも参加できます。

定員: 40名(要事前申込)

参加費: 1500円

**研修室**

10:30~12:00

**NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ  
「ケニアに通い続けて14年」**

ケニアとの交流・支援を始めてからの14年間に起こったことを映像を通してお伝えします。

●定員: 20名 ●参加費: 無料

14:00~15:00

**NPO法人シャロームの会  
「ありのままのあなたが素晴らしい」**

「ありのままのあなたが素晴らしい」を理念とする当団体の活動を映像を通して紹介します。

●定員: 20名 ●参加費: 無料

**第2会議室**

10:30~15:00

**フラワーセラピー研究会仙台  
「花でコミュニケーション」**

震災後、「こころのケア」活動で数々の感動を呼んだフラワーセラピー教室の体験講座。

●定員: 20名 ●参加費: 500円

**第1会議室**

13:00~15:00

**ICT支援NPOネットワーク宮城  
「タブレットを触ってみよう」**

旅行をテーマにインターネットを活用し、タブレット端末の操作の体験をします。

●定員: 12名 ●参加費: 500円

**第3会議室**

10:30~11:30

**クेशーの会  
「下着と軽失禁パッドの選び方・使い方&アロマde癒しの骨盤底筋体操(失禁予防体操)」**

下着や軽失禁パッドの選び方を知り、アロマの香りの中で失禁予防に効果がある体操を行います。

●定員: 10名(女性のみ)  
●参加費: 1000円(2名の場合1700円)

13:00~15:00

**NPO法人20世紀アーカイブ仙台  
『昭和の仙台』上映会(解説付き)  
『クラシカルセンダイ』上映会」**

昭和30~50年代に仙台市民が撮った8ミリフィルムの上映会です。

●定員: 20名 ●参加費: 無料

**販売ブース**

10:30~15:00

仙台生ごみリサイクルネットワーク 生ごみ堆肥などを使って育てた「ねぎ」、EM発酵液で作った「リサイクル石けん」の販売	NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ アフリカ・ケニアのフェアトレード商品(布小物、雑貨、アクセサリ等)、仮設住宅の方たちの協賛商品の販売	NPO法人とうほく食育実践協会 フェアトレード商品(オリーブオイル・グラランの塩・コーヒーなど)の販売
---	---	--



主催: 宮城県 企画・実施: NPO法人杜の伝言板ゆるる